



多摩市立瓜生小学校

# 学校だより

【祝開校20周年】

平成28年度 第8号  
平成28年10月31日

## 「みんなで楽しもう 瓜生の色」

校長 鈴木純一郎

10月19日（水）から21日（金）まで、6年生は長野県の富士見町にある多摩市立八ヶ岳少年自然の家での2泊3日の移動教室に出かけました。少し前までの天気がよくなかったので心配しましたが、天候に恵まれて、すべての活動を予定通りに実施できました。

昨年までのルートを変更し、車山から物見石、八島湿原までのコースを歩きました。快晴の下で、高原の涼しい風を受けながら気持ちよく歩きとおすことができました。夜はナイトハイクを行い、森の静けさを体感するとともに、満天の星空を見上げて、ロマンあふれる星座の学習を行いました。

二日目の林業体験では、十数メートルのカラマツの大木をグループに分かれて、のこぎりで切り倒しました。自分たちの切り倒した木が大きな地響きを立てて倒れた瞬間、喜びの歓声が沸きあがっていました。

冷たい水が流れる立場川での川遊び、楽しく盛り上がったキャンプファイヤー、班ごとに隠し味を競ったカレーづくりコンテストなど、雄大な八ヶ岳の自然に囲まれて、「仲間」と協力し、助け合う集団生活を通して、本物体験、感動体験を重ね、とても充実した三日間でした。

2月には、5年生がスキー教室で再び八ヶ岳少年自然の家を訪れます。



物見石付近でのお弁当



大木を切り倒す林業体験



おいしかった手作りカレー

来週末はいよいよ、「開校20周年記念 第11回 作品展」です。

日ごとに秋が深まり、芸術鑑賞にふさわしい季節を迎えました。図工や家庭科の授業で子供たち一人一人が心を込めて素敵な作品を作り上げました。

全校児童、教職員による共同作品の「全校壁画」もあります。

校庭に街を作る「空間ワークショップ」では、5、6年生の子供たちがプロの建築家の方々の指導の下、グループごとに9棟の「家作り」に挑戦し、瓜生小の校庭に新しい町並みを作ります。学校は三日間、「瓜生美術館」に変わります。ぜひご来校いただき、子供たちの力作をご覧ください。

- <挨拶・返事> 自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。
- <優しい言葉> 優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。
- <学習・読書> 家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。
- <親切的な行動> 親切的な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。